

新型コロナウイルス感染症の拡大による 水道事業経営への影響について ⑱

令和3年9月検針分（主に7・8月使用分）

用途別の影響

令和3年9月分の検針データを前年（コロナ後）及び前々年（コロナ前）と比較すると、主に家庭用となる20mm以下の口径は、前年度との比較では、水量は約27,000m³、2%の減、料金は約5,360万円、83%の増となりました。また前々年度との比較では、水量は約29,000m³、2%の減、料金は約330万円、3%の減となりました。

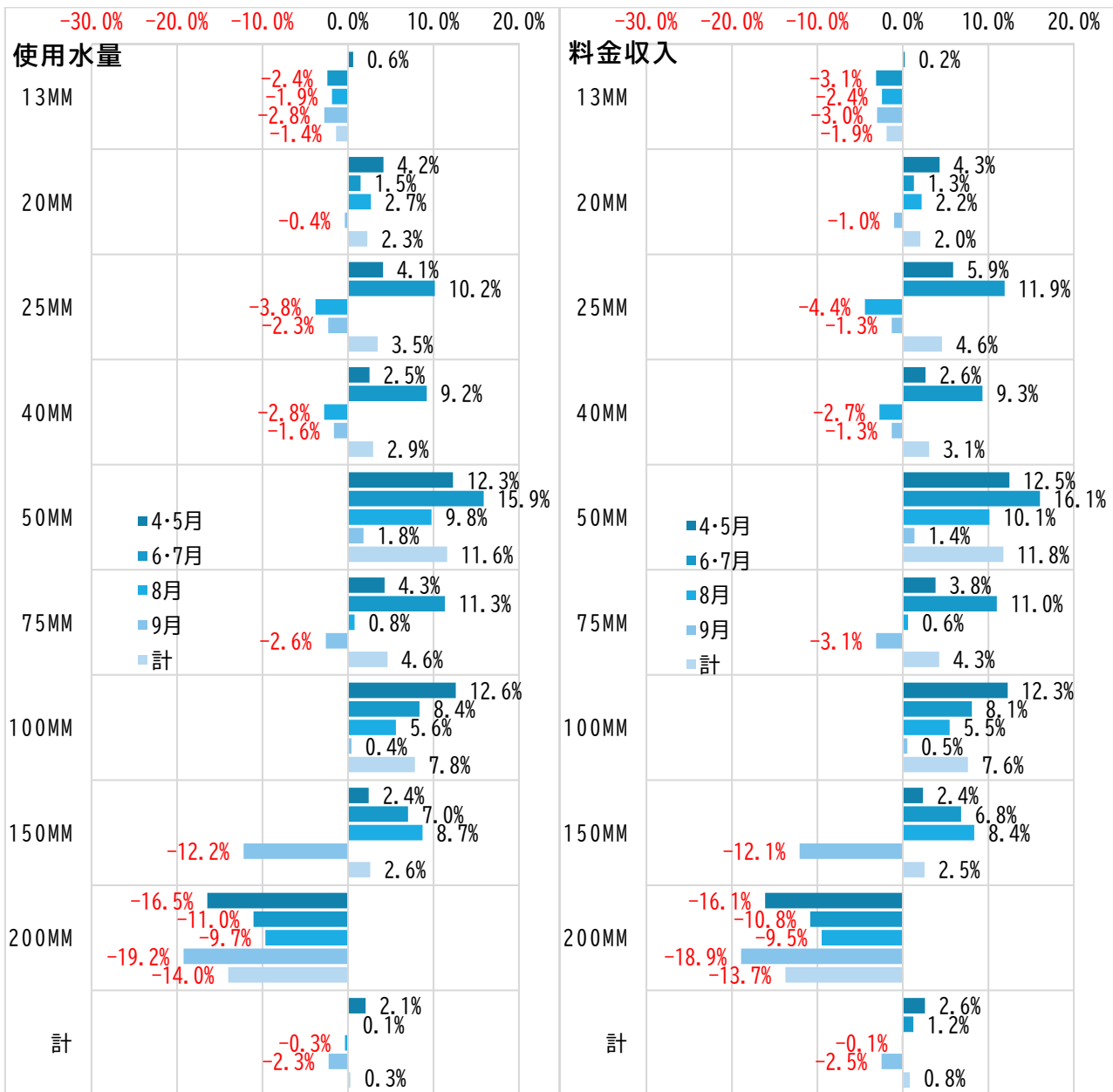
主に業務用となる25mm以上の口径は、前年度との比較では、水量は約5,000m³、2%の減、料金は約180万円、4%の減となりました。また前々年度との比較では、水量は約29,000m³、12%の減、料金は約1,450万円、27%の減となりました。

合計では、前年度との比較では水量は約32,000m³、2%の減、料金は約5,190万円、49%の増となり、前々年度との比較では水量は約58,000m³、4%の減、料金は約1,780万円、10%の減となりました。料金収入の大きな増加は、昨年度の減額措置の影響によるものです。

検針年	区分	9月検針分（7・8月使用分）		
		20mm以下	25mm以上	合計
R1	水量（m ³ ）	1,221,698	235,226	1,456,924
	金額（税抜き：円）	121,408,250	53,246,900	174,655,150
	供給単価（円）	99.38	226.36	119.88
R2	水量（m ³ ）	1,220,312	210,754	1,431,066
	金額（税抜き：円）	64,475,249	40,468,919	104,944,168
	供給単価（円）	52.84	192.02	73.33
R3	水量（m ³ ）	1,192,836	206,014	1,398,850
	金額（税抜き：円）	118,109,830	38,702,165	156,811,995
	供給単価（円）	99.02	187.86	112.10
対R2 増減 (コロナ後との比較)	水量（m ³ ）	-27,476	-4,740	-32,216
	増減率	-2.25%	-2.25%	-2.25%
	金額（税抜き：円）	53,634,581	-1,766,754	51,867,827
	増減率	83.19%	-4.37%	49.42%
	供給単価（円）	46.18	-4.16	38.77
対R1 増減 (コロナ前との比較)	水量（m ³ ）	-28,862	-29,212	-58,074
	増減率	-2.36%	-12.42%	-3.99%
	金額（税抜き：円）	-3,298,420	-14,544,735	-17,843,155
	増減率	-2.72%	-27.32%	-10.22%
	供給単価（円）	-0.36	-38.50	-7.78
		-0.36%	-17.01%	-6.49%
		R2金額増減のうち減額措置分		△ 63,794,987

口径別の対前年変動率

口径別の対前年変動率を見ると、使用水量、料金ともに、50mmと100mmを除くすべての口径で減となりました。20mmと75mmは、今年度初の減少になります。



※料金収入は、減額措置の影響を差し引いています。

考察

主に家庭用の20mm以下、主に業務用の25mm以上ともに、2年連続の前年比減となりました。新型コロナウイルス感染症の拡大による家庭での需要増の傾向は続いていますが、9月検針分は、天候不順の日が多かった7月、8月の使用実態を表しており、総合計は、先月に続き2月連続での前年比減となりました。特に感染症拡大後、増加を続けていた20mmが初めて前年比マイナスとなるなど、まだまだ安心はできない状況にあります。

また、料金収入の3分の1を占める25mm以上で、使用水量が増えている口径が多いことは、安定的な経営につながるものですが、一部の口径で減少がみられるとともに、25mm以上の合計は今年初めて前年比減となりました。4月からのトータルでは、使用水量、料金収入ともに前年を上回ってはいますが、25mm以上の利用動向を引き続き注視する必要があります。